



SCB

ニュース&トピックス

No.2025-4

(2025.4.10)

信金中央金庫 地域・中小企業研究所

信用金庫統計担当：西 俊樹

03-5202-7672

s1000790@FacetoFace.ne.jp

信用金庫の預金・貸出金残高（2025 年 3 月末速報）

— 前年同月末比増減率、預金 0.2%増、貸出金 1.4%増 —

ポイント

- 2025 年 3 月末の全国 254 信用金庫の預金残高の合計は 161 兆円、前年同月末比増減率は 0.2%増となった。また、貸出金残高の合計は 81 兆円、同 1.4%増となった。
- 地区別にみると、預金の前年同月末比増減率がプラスの地区は 11 地区中 5 地区、貸出金の増減率はすべての地区でプラスとなった。
- 業態別にみると、預金、貸出金とも信用金庫が最も増加率が低い状況が続いている。

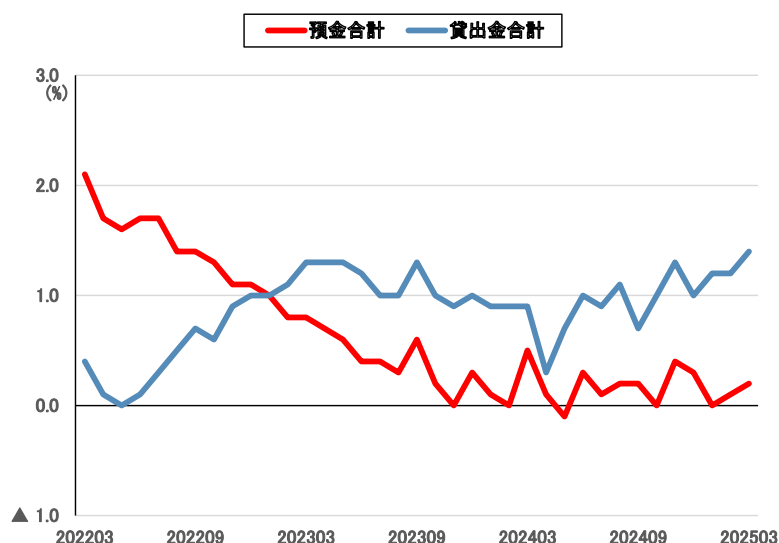
（注）本稿における 2025 年 3 月末計数は補正前計数を含む速報値であるため、確報値で修正されることがある。

1. 2025 年 3 月末の預金・貸出金動向

2025 年 3 月末の全国 254 信用金庫の預金残高の合計は 161 兆円、前年同月末比増減率は 0.2%増となった（図表 1）。貸出金残高の合計は 81 兆円、同 1.4%増となった。預金残高、貸出金残高ともに低い伸び率ながら増加を続け、いずれも前年度末残高を上回った。

過去の 3 年間の推移をみると、信用金庫の預金、貸出金は、コロナ禍での給付金や資金繰り支援などによって 2020 年度に急増した。その後、預金、貸出金ともに増減率は鈍化傾向を続け、2025 年 3 月末時点では、預金増減率は貸出金増減率を下回る状況にある。

（図表 1）預金・貸出金の前年同月末比増減率の動向



（備考）信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 地区別の動向

2025 年 3 月末時点の地区別の状況をみると、預金の前年同月末比増減率がプラスの地区は 11 地区中 5 地区、貸出金の増減率はすべての地区でプラスとなった（図表 2）。

(図表2) 地区別の動向

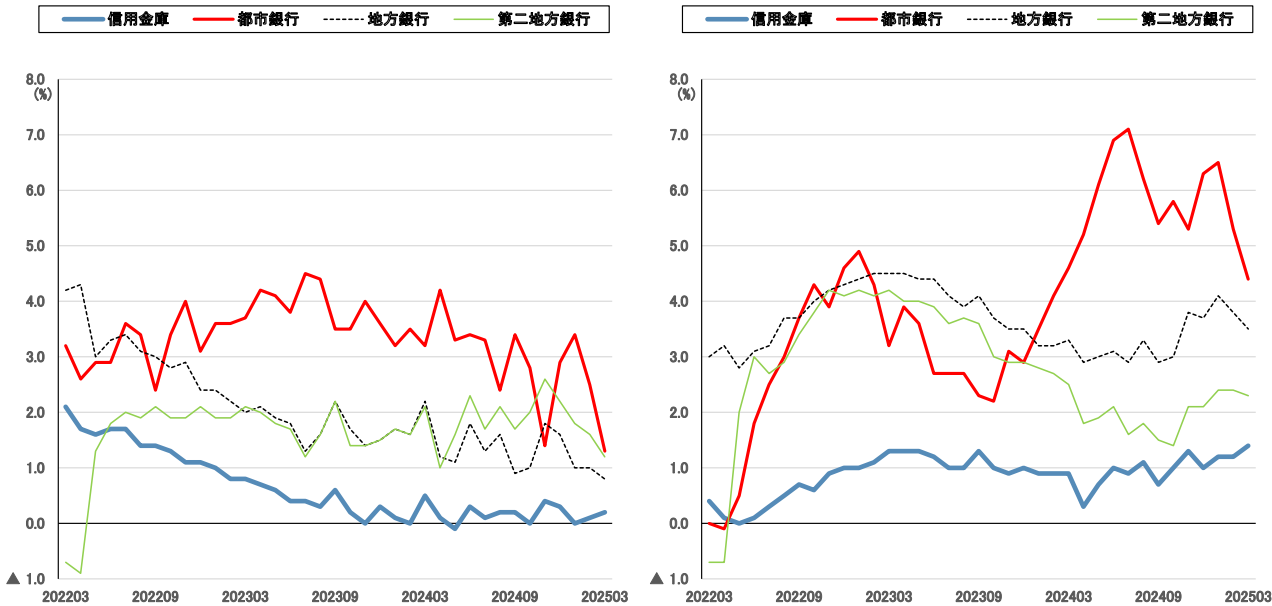
地 区	預金			貸出金			預貸率
	残高	月中増減率	前年同月比増減率	残高	月中増減率	前年同月比増減率	
北 海 道	85,098	-1.6	0.4	35,923	1.2	1.4	42.2
東 北	59,553	-1.0	-0.2	27,531	0.7	0.8	46.2
東 京	284,865	-0.2	-0.0	156,899	0.7	0.4	55.0
関 東	300,461	-1.1	0.2	150,815	0.6	1.5	50.1
北 陸	40,296	-0.0	0.5	17,864	1.5	2.4	44.3
東 海	350,735	0.6	0.7	168,497	1.1	2.2	48.0
近 畿	333,566	-1.8	0.2	176,886	0.7	1.3	53.0
中 国	67,517	-1.0	-0.4	35,704	0.5	2.0	52.8
四 国	32,237	-0.8	-0.3	12,775	0.6	2.9	39.6
九 州 北 部	27,080	-3.3	-0.4	15,207	0.2	1.1	56.1
南 九 州	31,448	-0.5	-0.9	17,262	-0.0	0.6	54.8
全 国	1,615,388	-0.7	0.2	817,102	0.8	1.4	50.5

(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

3. 業態別の動向

業態別の前年同月末比増減率は、信用金庫(預金 0.2%、貸出金 1.4%)、都市銀行(同 1.3%、同 4.4%)、地方銀行(同 0.8%、同 3.5%)、第二地方銀行(同 1.2%、同 2.3%)となっており、信用金庫は預金、貸出金とも低い状況が続いている(図表3)。

(図表3) 業態別の動向(左図:預金、右図:貸出金)



(備考) 1. 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成
2. 他業態は全国銀行協会「全国銀行預金・貸出金等速報」より作成(業態間の合併は未調整)

以 上

※信用金庫業界の各種データは、信金中央金庫 地域・中小企業研究所ホームページの「信用金庫統計」(<https://www.scbri.jp/publication/toukei/>)に掲載されています。併せて、ご活用ください。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。